

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

回答数 9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	2	○子どもが落ち着く空間を自ら見つけてそこに行くことを職員も子ども達も容認していることがよいと思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2	2	●曜日によって職員数が不足しているようなので職員の確保が必要。 ●送迎や個別支援の必要な利用者の人数によっては職員が足りない場面がある。 →今年1月から児童指導員1名増員。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2	1	●子どもの特性に応じた場所や環境整備等の整備が必要だと思う。 ●避難口となる窓の高さへの対応や様々な刺激を避けるためのスペースの確保が必要。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	3	0	○週に1回職員会議を行い情報の共有を図っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4	0	○日頃から保護者との会話や交流に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	7	●外部評価の制度を作っていないのでそれを整備する。→NPO法人事務局と設置に向けて検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	
適切 な	9	面談等を適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	
	10	個別支援計画を周知し、子どもと保護者のニーズや課題を理解しているか。	9	0	0	○職員会議で職員に周知するようにしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1	0	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	4	2	

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	3	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	6	1	△会議のある日等は行うことができています。 △最低限の情報(送迎担当者・送迎時刻等)はホワイトボードで確認するようにしている。 →毎日利用者の来所前に職員打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	5	0	△時間がないときは記録を残しておくようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	5	0	●記録をとったものを元に職員間での話し合いの場や時間をもっと増やしてほしい。 →毎週の職員会議で支援についての話し合っている。にしっ子としての実践レポートを作成する予定。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	4	0	●通常級の担任との連絡が難しい。 →新潟市で行っている「トライアングルプロジェクト」を活用する。
	22	(医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合)子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	1	△受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	7	0	○入学支援ファイルを用いている。 ●文書だけのやりとりで終わっているケースもあり、事業所によってまちまちの対応となっている。 →こちらから積極的に連絡をとるようにする。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	2	2	△まだ放課後等デイサービスから移行したケースがない。(3)
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	0	0	○障害の有無にかかわらず、日常的に子ども同士が特性に応じた活動やかかわり方ができてよい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	4	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1	0	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	1	○保護者会を行っている。 △必要に応じて相談は実施しているが、トレーニングとしては実施していない。→今後も状況に応じて保護者への声かけや面談の設定、相談事業所や医療・行政機関との連携を図る。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	0	0	○保護者会で保護者同士の交流、子育てについての懇談を行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0	○月1回の便り「にしっ子」を発行している。
	35	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	8	1	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	1	○開所時のオープン見学会を行った。 ●現在はコロナもあり、地域住民の方を招待することができていない。(3) △まだ1年目なので・・・
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4	2	●保護者への周知が必要だと思った。 ●マニュアルは作成しているが保護者に周知するようにはなっていない。→保護者会で説明の場を設ける。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	2	0	●必要な訓練の回数が今よりも増えた方がよいと思う。 →計画を確実に実施できるように職員で準備する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	3	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	5	1	●検討中。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	5	1	△まだ具体的に対応が必要な利用者がいない。(4)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	4	3	●ヒヤリハットマップはあるが、事例としての情報収集だけで共有はできていない。→出てきた情報を職員会議や打ち合わせで共有できるようにする。

<まとめ>

にしっ子が放課後等デイサービスとして事業を始めて1年がたちました。利用者も順調に増え、生活や遊びを通して学童保育との「インクルーシブ」な支援を進めてきました。

利用者の増加に伴い職員の増員も進めてきましたが、曜日によっては人手が足りなくなる場面もありました。職員がどのように動けばよいのか、どの場面に支援が必要なのか職員間で声を掛け合い支援の連携を図っていくことが求められています。そうした中でにしっ子では毎日の打ち合わせや週1回職員会議を行っています。常勤・非常勤の区別や経験年数にかかわらず、子ども達の豊かな放課後の生活を目指して一人一人の子どもに対する見方や支援の進め方について職員間で話をする時間を大事にしています。

今回のアンケートで保護者の皆様や職員からでた意見をきちんと受け止め、にしっ子の生活に生かしながら、これからも子ども達の笑顔あふれる放課後作りを進めていきます。